



AQU 先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2021/04/23

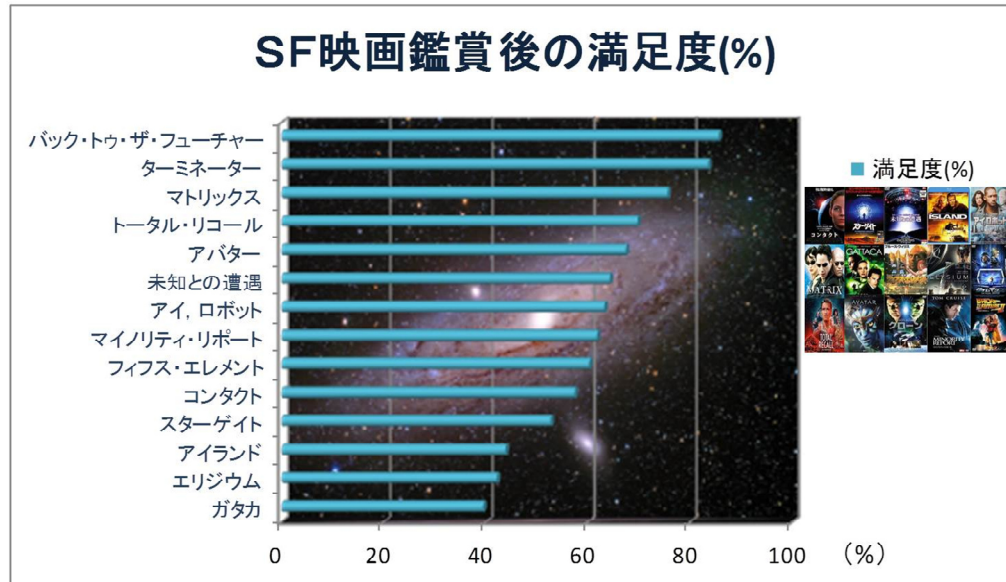
- SF 映画の未来技術に関心高まる！
「若返り」、「反重力クラフト」などに期待する声！
- 米国における情報開示の流れ、研究開発にポジティブな影響の可能性！
- 2,300人技術系社員に意識調査実施、AQU先端テクノロジー総研

<https://www.aqu.com/aqu-news/2021-04-23.pdf> ニュースリリース

<https://www.aqu.com/space-tech-medbed/>

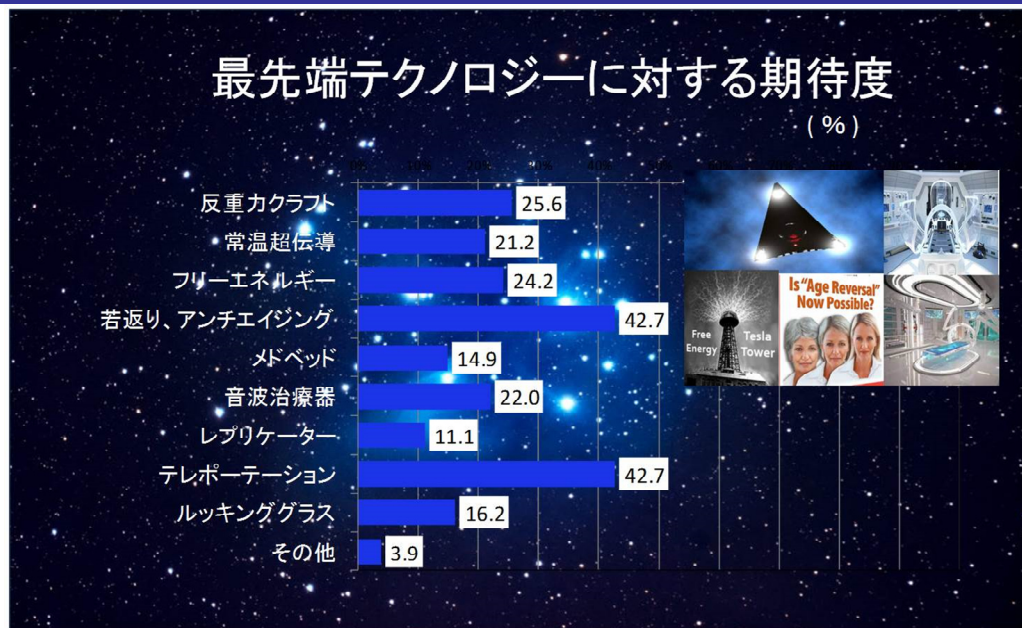
<https://www.aqu.com/>

【意識調査結果の注目点】



(AQU先端テクノロジー総研、技術系社員2,300人対象意識調査、2021年4月21日)

図表. SF 映画鑑賞後の満足度



(AQU先端テクノロジー総研、技術系会社員2,300人対象意識調査、2021年4月21日)

図表. 最先端テクノロジーに対する期待度

- SF 映画の未来技術に関心高まる！
- 「若返り」、「反重力クラフト」などに期待する声！
- 米国における情報開示の流れ、研究開発にポジティブな影響の可能性！
- 2,300人技術系会社員意識調査実施、AQU先端テクノロジー総研

■概要

「若返り」、「反重力クラフト」、「フリーエネルギー」などに期待の声！先端テクノロジーの市場調査会社、AQU 先端テクノロジー総研(代表、子安克昌)が SF 映画の未来技術について、技術系会社員2, 300人を対象に意識調査を実施したところ、非常に興味深い結果が得られました。

<https://www.aqu.com/aqu-news/2021-04-23.pdf>

<https://www.aqu.com/space-tech-medbed/>

■調査の背景と結果

SF 映画は人々に未来へのロマンや夢、仮想世界を楽しむなどの娯楽を与えてくれています。これらの映画の中には未来に実現するかもしれないような技術が、描かれています。そこで、日頃より技術のことにふれる立場にある、技術系会社員2, 300人に対して意識調査を行いました。たくさんの映画作品の中から、SF 映画 14 作品を抽出して質問したところ、バック・トゥ・ザ・フューチャーが最も満足度が高く、続いて、ターミネーター、マトリックス、トータル・リコール、アバター、未知との遭遇という結果になりました。

SF 映画に描かれている先端技術の真実性として、描かれているテクノロジーが「すでにあると思う」と最も高かったのは「宇宙船(円盤)」、続いて「クローン(人間)」、そして「若返り」、「タイムトラベル」でした。

未来の技術、先端テクノロジーについて、今後の開発に期待したり、使ってみたいものはありますか? と質問したところ、「若返り、アンチエイジング」、「テレポーテーション」が、ツートップ(42.7%)となりました。続いて、「反重力クラフト」、「フリーエネルギー」、「音波治療器」、「常温超伝導」となりました。この他としては、「ルッキンググラス」、「メドベッド」、「レプリケーター」などがあります。

ところで、技術的に世界のトップを走っている米国では、最近になり、機密情報の開示が進みつつあります。2020年12月下旬にアメリカ合衆国連邦議会が可決し、大統領が署名して成立した新型コロナウイルス追加経済対策法案には、国家情報長官と国防長官は、およそ180日以内に「未確認航空現象」に関する非機密扱いの報告書を連邦議会の情報軍事委員会に提出する必要があるとのことです(CNNニュース)。このことにより、報告書には、UFOデータに関する詳細な分析や、海軍情報部、未確認航空現象作業部会、米連邦捜査局(FBI)が収集した情報を含める必要があるといえます。すでに、情報開示が進んでいるものがあり、米国内のみならず世界的にも、こうした機密情報開示の動向が注目されています。

実際の特許を調べてゆくと、反重力クラフト、常温超伝導などにおいて詳細情報にアクセスでき、機密情報開示の流れが真実であることが伺えます。こうした新技術がもたらすインパクトは、まず研究開発、生産製造を進める企業などにおよび、その後、開発された製品サービスが、しだいに人々の生活に反映されてゆくことになるとみられます。開発には困難、ハードルも予想されることから、それ相応の時間がかかるとみられますが、新しい技術が未来社会に生かされてゆくことができれば、社会が豊かになってゆくことにもつながります。

■コメント

なお調査を行った、AQU先端テクノロジー総研では次のようなコメントを発表しています。

「素晴らしい映画作品などは、新型コロナウイルスの影響を受けた人々に、しばしの間、厳しい現実を忘れ、心を希望の未来に向かわせてくれるものがあります。SFなどの素晴らしい作品に対して感謝したいと思います。今回の意識調査では回答した58%、半分以上の人が「もっと先端技術を活用したい」と考えていることが分かりました。今まで知らされていなかった先端技術の機密情報の開示も多いことから、今後、素晴らしい技術の活用が、豊かな社会づくりにつながってゆくことが期待されます。」(主任研究員、子安克昌)

■調査テーマ

『SF 映画と未来技術、先端テクノロジーに関する意識調査』

<https://www.aqu.com/aqu-news/2021-4-22.pdf> (ニュースリリース)

■関連する調査報告書

『宇宙テクノロジー、量子メドベッドの可能性と市場展望に関する調査
ー情報開示を契機に注目される最先端テクノロジーの未来戦略ー』
<https://www.aqu.com/space-tech-medbed/>

『トランステック、マインドフルネス瞑想の需要動向と市場予測に関する調査
ー瞑想支援機器、アプリ、意識テクノロジーの未来戦略ー』
<https://www.aqu.com/transtech/>

■今回の意識調査の趣旨

SF 映画は人々に未来へのロマンや夢、仮想世界を楽しむなどの娯楽を与えてくれている。これらの映画の中には未来に実現するかもしれないような技術が描かれている。そこで、日頃より技術のことにふれられる立場にある、技術系会社員2,300人にアンケート意識調査を行った。先端テクノロジーの今後の市場予測の参考とする。

■意識調査実施日 2021年4月19日～4月21日

■調査の実施 AQU 先端テクノロジー総研
宇宙テクノロジー、量子メドベッド市場調査プロジェクト

■調査対象

技術系会社員を対象に、インターネットを利用して20代、30代、40代、50代、60代以上(均等)、合計2,300人の協力を得てアンケート調査を実施した。(有効回答数、2,300人)

※お問い合わせ連絡先

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研
<https://www.aqu.com/>

〒260-0027
千葉市中央区新田町 36-15
千葉テックビル 6F
TEL 043-204-1258
FAX 043-204-1316
子安、那須
info@aqu.com